

お知らせします 平成15年度

家畜診療所 特別会計

1,552万円

(平成14年度 1,562万円)

前年度比0.6%減

家畜診療所特別会計予算は、対前年度比0.6%減となる1,552万円となりました。

家畜診療所運営は、新潟中央農業共済組合、亀田郷みなみ農協、横越町酪農組合からの分担金、および町からの負担金と診療収入により運営しています。

町の畜産は、酪農と養豚であり、飼育頭数は、乳牛526頭、肉豚1,765頭となっております。

下水道事業 特別会計

4億6,800万円

(平成14年度 5億4,200万円)

前年度比13.6%減

下水道事業特別会計予算は、対前年度比13.6%減の4億6,800万円となりました。

快適な生活環境と自然環境を保全するため、昭和54年に着手した下水道事業は、全体計画区域340haのうち304haの面積整備が完了し、合併浄化槽で対応する区域を除き、計画した工事は終了しました。

主な支出内訳では、借入金の返

水道事業 会計

2億6,200万円

(平成14年度 2億5,990万円)

前年度比0.8%増

水道事業会計予算は、対前年度比0.8%増の2億6,200万円となりました。

今年度の水需要は、前年同様の151万7千mを見込んでいます。これらは、下水道の普及により、既存住宅での水洗化の伸びは望めず、水需要も若干ですが減少していることに加え、住宅造成地では、経済状況からなかなか住宅建築が進まないことなどから、

特別会計予算

町予算は、一般会計のほか、特別会計として国民健康保険、老人保健、介護保険、水道事業、下水道事業、家畜診療所の6事業会計から成っています。

これらの特別会計について、それぞれお知らせします。

介護保険 特別会計

5億7,500万円

(平成14年度 4億8,100万円)

前年度比19.5%増

介護保険財政の事業運営は、中期財政運営期間(3年間)を一期とし、3年ごとに1号被保険者保険料の見直しを実施することになっており、平成15年度は、第2期中期財政運営期間(平成15年度・17年度)の初年度となります。

そのため、介護保険事業計画を基礎として、これまでのサービス給付実績等を考慮し、保険

老人保健 特別会計

9億8,929万円

(平成14年度 9億7,442万円)

前年度比1.5%増

高齢社会で国民みんなが医療費を出し合い、お年寄りの方が病気になっても安心して医療が受けられるように「老人保健制度」があります。

今年度予算は、対前年度比1.5%増の9億8,929万円になりました。昨年10月の老人保健法の改正により、年齢が75歳以上に引き上げられたため、老人医療受給者数は、年間平均で1,485

国民健康保険 特別会計

7億2,900万円

(平成14年度 6億4,833万円)

前年度比12.4%増

国民健康保険(以下、国保という)は、職場の健康保険などに加入していない人が加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのが皆さんの納める保険料で、医療費にあてる大切な財源となっています。

今年度予算は、対前年度比12.4%増の7億2,900万円

になりました。これは、国民健康保険法、老人保健法の改正により、老人保健対象者年齢の引き上げ、また、70歳以上の高齢者および3歳未満のお子さんの給付率が見直されたことに加え、長引く経済不況による国保被保険者の増加と、医療技術の進歩発展に伴う高度な治療が行われた結果、医療費が増加したことなどが要因です。

医療費の節減のためには、病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国保では、人ドックの経費を助成しています。今年度の町内の国保加入者は、3,654人(うち退職者被保険者は450人)と見込んでいます。また、国民健康保険税収納の低下(保険税を収めない人の増加)により、国保運営は一層厳しさを増しています。

医療費の適正化と保険料納率の向上を図り、加入者の健康保持と国保財政の健全化のため、ご理解とご協力をお願いします。

皆さんの負担が増えることにつながります。ふだんから健康づくりや上手な受診に心がけて、医療を有効に受けましょう。

事業の実施にあたっては、介護保険サービスと一般施策サービスの受け皿づくりを含めた幅広い生活支援策を組み立て、地域に暮らす方々の福祉サービスの充実や健康づくりを進めるとともに、一般福祉サービスと介護保険サービスの整合性を十分勘案し、事業を推進していきます。

今後も、介護保険事業および一般施策の円滑な実施のため、ご理解とご協力をお願いします。

一般家庭等の水需要の増加が期待できない状況にあるためです。

主な予算の内訳は、収益的収入および支出の予算は、1億7,880万円、資本的収入および支出の予算は、8,320万円となっております。

今年度も、老朽化した石綿管の布設替え、生活様式の変化に伴う水道管口径の拡大・環状化を図り、今後とも水の安全かつ安定した供給に努めていきます。

医療費を有効に使いましょう

- ①お医者さんのかけもちはやめましょう。
- ②緊急の場合を除き、時間外・休日受診はなるべく避けましょう。
- ③薬をむやみにたくさん欲しいのはやめましょう。
- ④お医者さんを信頼し、指示をきちんと守って治療しましょう。
- ⑤定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を心がけましょう。

町の農業の中でも重要な役割を担っています。

家畜診療所では、獣医師によりこれら家畜の病気発生時の低減や飼育管理の指導を行うなど、関係する機関、団体と連携を図りながら、町の畜産振興に努めていきます。

